

# 発表資料作成のポイント





初めての資料作成は大変！？

資料作成のポイントを把握して

学会発表を**楽**しもう！！



## Contents1. 学会規定の把握



## Contents2. 研究発表の構成と作成



## Contents3. 症例報告の構成と作成



# Contents1. 学会規定の把握



- 発表方法は？
- 発表資料のサイズは？
- フォント・文字サイズは？
- 背景・色合いは？
- COIの記載は？
- その他、注意事項はあるか？

# 発表方法は？

会場での口述発表



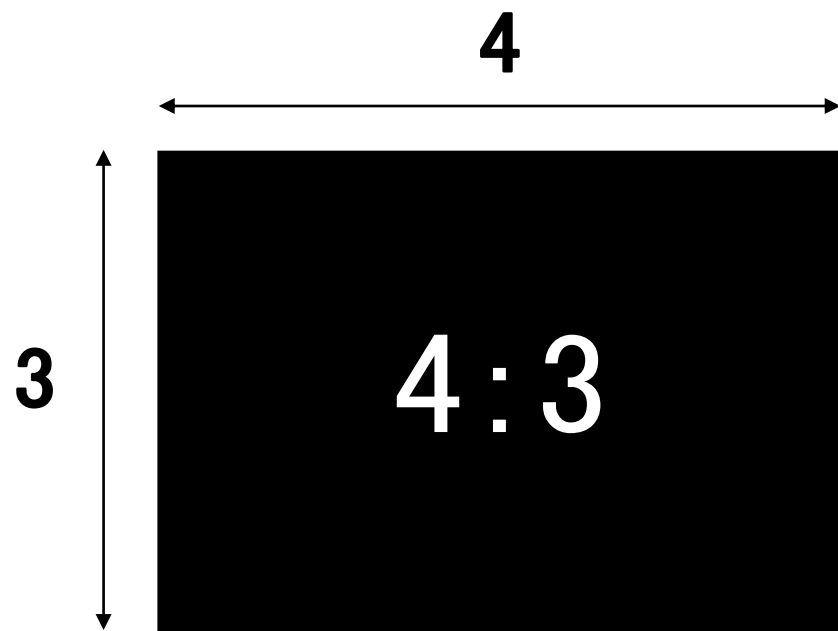
学会HPでのオンデマンド発表



&

※ オンデマンド発表は**2023/6/19正午**までに  
発表資料および発表動画を[35copt.slide@gmail.com](mailto:35copt.slide@gmail.com)までお送りください。

# 発表資料のサイズは？



「デザイン」⇒「スライドサイズ」から  
ワイド画面(16:9)をお選びください。

# フォント・文字サイズは？

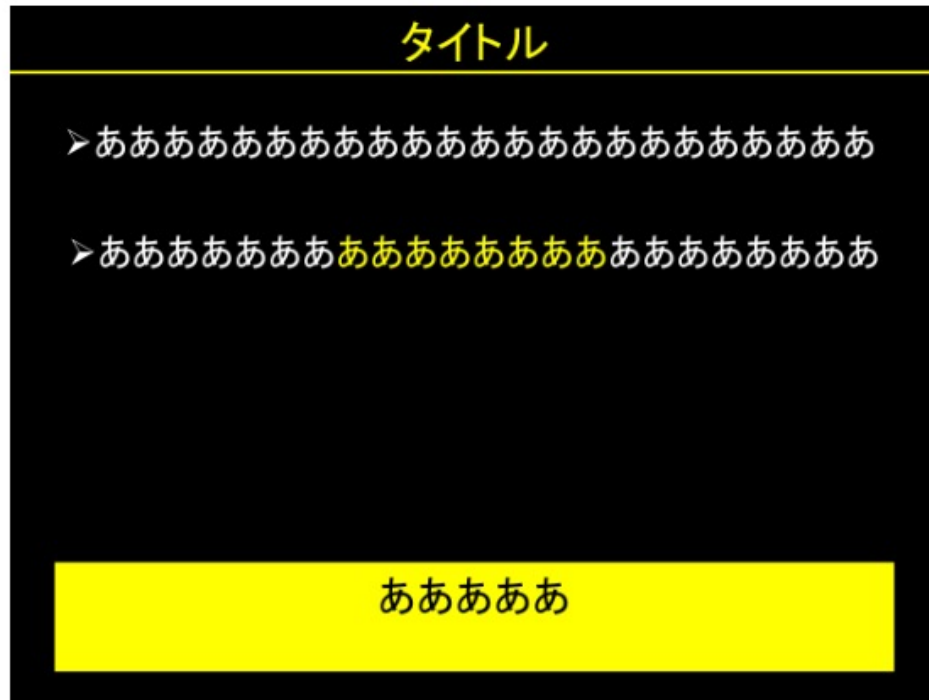
- ✓ フォントは統一する  
おススメフォント  
日本語:「MS Pゴシック」 or 「メイリオ」  
英語:「Century」 or 「Calibri」 etc...
- ✓ フォントサイズ  
最低: 24ポイント  
理想: 28 or 32ポイント



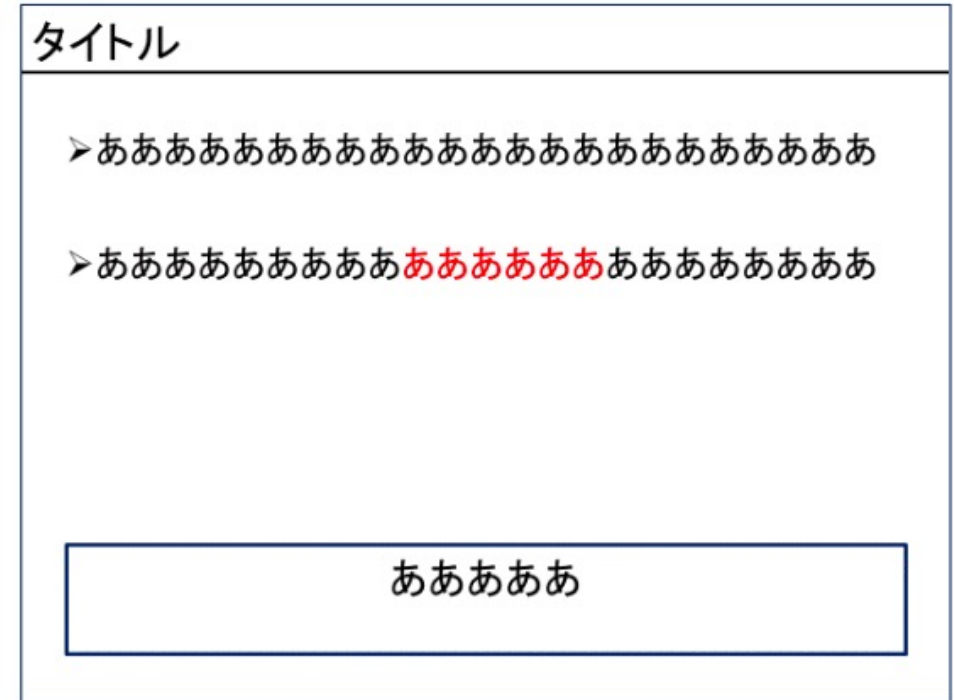
# 背景・色合いは？

## ✓ スライドデザイン (以下の2パターンが無難)

パターン1: 背景色 ⇒黒or濃い青  
テキスト⇒白or黄色



パターン2: 背景色 ⇒白  
テキスト⇒黒or濃い青



色の数は3色程度に留めて使い分けることが無難

# COIの記載は？

## COIなし

第35回大阪府理学療法学会  
COI開示

発表者：姉川恵佑、角田晃啓、本田憲胤

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある  
企業などはありません。

## COIあり

第35回大阪府理学療法学会  
COI開示

発表者： 姉川恵佑、角田晃啓、本田憲胤

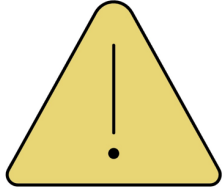
演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして、

- |              |          |
|--------------|----------|
| ①顧問：         | なし       |
| ②株保有・利益：     | なし       |
| ③特許使用料：      | なし       |
| ④講演料：        | なし       |
| ⑤原稿料：        | なし       |
| ⑥受託研究・協同研究費： | 〇〇製薬     |
| ⑦奨学寄附金       | 〇〇製薬     |
| ⑧寄付講座所属      | あり（〇〇製薬） |
| ⑨贈答品などの報酬    | なし       |

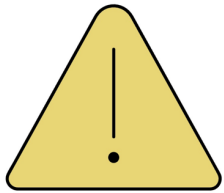
※ COIのテンプレートは学会HP「座長・演者へのご案内」

(<https://confit.atlas.jp/guide/event/opt35/static/chairman35>)よりダウンロードできます。

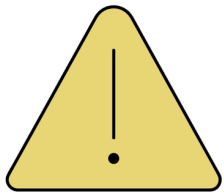
# その他、注意事項はあるか？



オンデマンド配信による発表は、著作権法上の公衆送信にあたりと  
考えられます。そのため、スライドにおけるコンテンツは著作権上の  
問題のないものに限るようにご留意ください。



アニメーションおよび動画の使用は可能ですが、  
完全な動作保証は致しかねますので、その旨ご了承ください。



デザインは問いませんが、タイトル・所属・名前・利益相反(COI)・  
倫理面の配慮に関しては必ず記載するようになさってください。

# Contents2. 研究発表の構成と作成



- 研究発表の構成
- タイトルページの作成
- 引用文献の記載方法
- 背景の作成
- 目的の作成
- 方法の作成
- 結果の作成
- 表の作成
- グラフの作成
- 考察の作成
- 結論の作成

# 研究発表の構成

タイトルページ 1枚	COIの開示 1枚	背景 2-3枚	目的・(仮説) 1枚	方法 2-3枚
結果 2-3枚	考察 2-3枚	限界 1枚	まとめ・結論 1枚	謝辞 1枚

- ✓ 1スライド30～60秒程度
- ✓ 10～15枚程度のスライド数が無難

# タイトルページの作成



病院や大学の  
ロゴを入れても良い

2023/7/2(日)  
第35回大阪府理学療法学会

学会名や演題番号を記載しても良い

## 発表資料作成のポイント

タイトルは真ん中に配置する

姉川恵佑<sup>1)</sup> 角田晃啓<sup>2)</sup> 本田憲胤<sup>3)</sup>

名前と所属を記載

1) 第35回大阪府理学療法学会 IT運営局 局長

2) 第35回大阪府理学療法学会 準備委員長

3) 第35回大阪府理学療法学会 大会長

# 引用文献の記載方法

著者名、雑誌名、掲載年を記載する。



## はじめに

〇〇に関する報告

□ \* \* \* \* \*

(大阪ら, 理学療法学, 2023)

□ \* \* \* \* \*

(Osaka et al, JPTA, 2023)

**学会抄録の引用は使用しない!**

# 背景の作成

- ✓ 先行研究を元に明らかになっていることを示す。
- ✓ 明らかになっていないこと、取り組むべきことを強調して示す。




## 背景

- 初めての学会で発表資料作成に悩む若手理学療法士が多い。  
(大阪ら, 大阪府理学療法, 2023)
- 発表資料作成について学ぶ機会は少ない。  
(Osaka et al, COPT, 2023)
- 演題登録数増加および若手理学療法士への発表支援を目的に「発表支援講座」を開催した。
- 講座に参加できなかった若手理学療法士への支援も必要である。

# 目的の作成

✓ 目的はシンプルに明確に1枚のスライドに大きく示す。



目的

若手理学療法士の学会発表を支援するために  
発表資料作成のポイントを示すこと

# 方法の作成

- ✓ 実験方法・計測方法は再現できるかを意識する。
- ✓ 表や写真を上手に使う。



## 方法

- ✓ 対象者を明確に示す
  - ・対象者数
  - ・年齢や性別などの基本情報
  - ・本研究に必要な対象者情報
  - ・包含基準や除外基準 など
- ✓ 何を調査・評価したのか？
  - ・調査内容
  - ・評価項目
  - ・調査、評価時期などを示す
  - ・調査、評価方法の説明
- ✓ 何を調査・評価したのか？
  - ・群分けや比較対象について
  - ・統計方法、有意水準

# 表の作成

- ✓表のタイトルを記載する。
- ✓単位を記載する。
- ✓平均値±標準偏差 or 中央値(最小値-最大値)を記載する。
- ✓縦の罫線はなるべく使用しない。

表1 介入前後でのバランスおよび歩行速度の変化

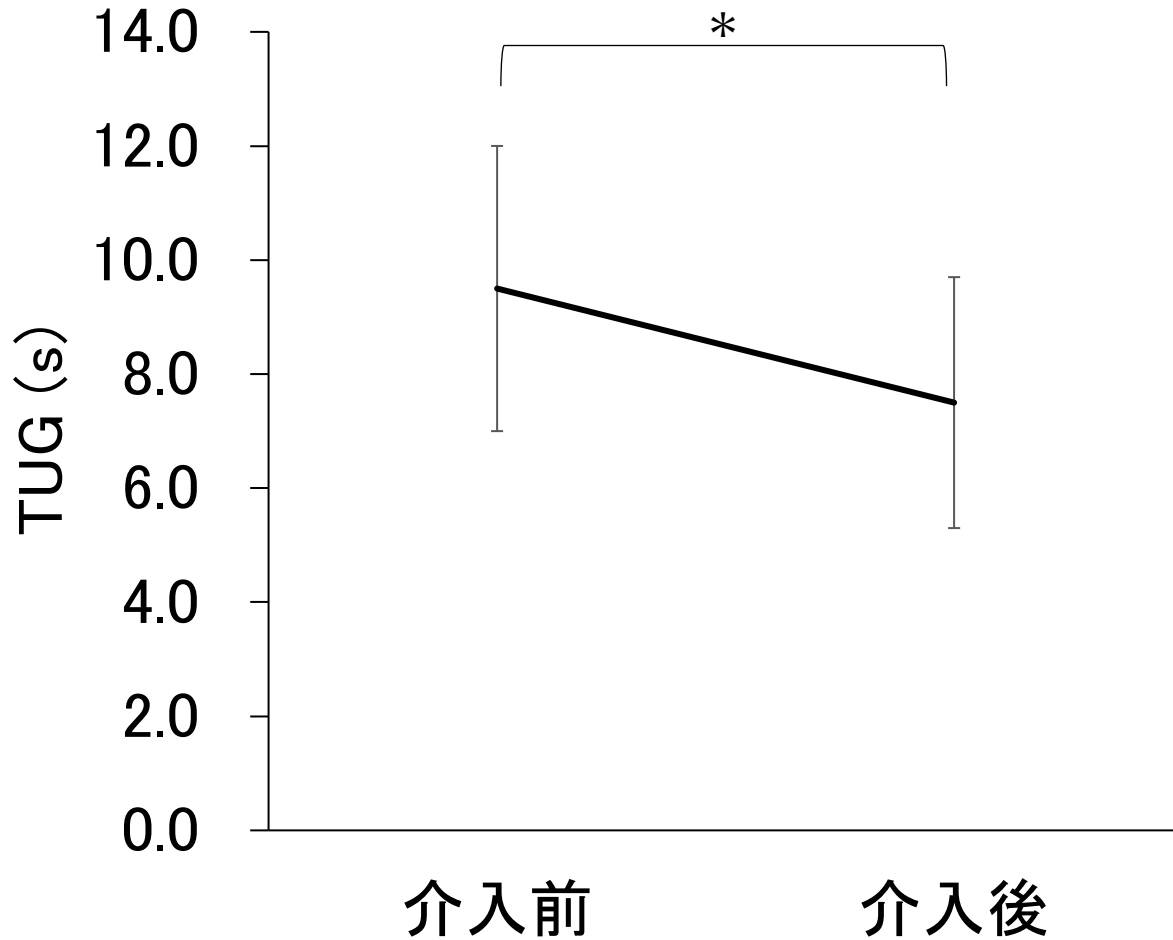
	介入前	介入後	p-value
片脚立位保持時間 (s)	17.5±4.3	18.8±7.3	0.141
FR (cm)	34.5±5.2	39.5±8.3	<0.001
TUG (s)	9.5±2.5	7.5±2.2	0.009

# 結果の作成

- ✓ 数字の羅列ではなく表やグラフを上手に使用する。
- ✓ 結果の内容に応じて適切なグラフを使用する。
  - 折れ線グラフ: 経時的な変化を示す。
  - 散布図: 変数間の関連を示す。
  - 棒グラフ: 各群における平均値の差を示す。
  - 円グラフ: 割合や構成比を示す。
  - 箱ひげ図: 各群における中央値の差を示す。



# グラフの作成



\*  $p < 0.05$

- ✓ グラフのタイトルを記載する。
- ✓ 単位を記載する。
- ✓ 有意差をわかりやすく示す。
- ✓ 平均値と標準偏差を示す。

図1 介入前後でのTUGの変化

# 考察の作成

- ✓ 研究結果のまとめ
- ✓ 先行研究との比較
- ✓ 本研究の新規性
- ✓ 結果の解釈
- ✓ 研究の限界      など



# 結論の作成

メッセージを端的に示す。



## 結論

**「発表資料作成のポイント」**を示すことは  
若手理学療法士の発表支援において有用であった。

# Contents3. 症例報告の構成と作成



- 症例報告の構成
- 背景の作成
- 症例紹介の作成
- 評価と介入方法の作成
- リーズニングと結果の作成
- 結論の作成

# 症例報告の構成

タイトルページ 1枚	COIの開示 1枚	はじめに 1枚	症例紹介 1-2枚	初回評価 1-2枚
問題点・プログラム 1-2枚	治療経過 1-2枚	最終評価 1-2枚	考察 1-2枚	まとめ 1枚
謝辞 1枚				

日本理学療法士協会「症例検討会 発表にあたって-第1版-」を参考に作成

# 背景の作成

今回の症例を報告する意義・ストーリーを示す。



## 背景

□ 階段昇降は人工膝関節置換術後に難渋するADL動作の一つである。

(大阪ら, 理学療法学, 2023)

□ 階段昇降の獲得には膝伸展筋力が重要と言われている。

(Osaka et al, JPTA, 2023)

しかし、膝伸展筋力が向上しても階段昇降の獲得に至らない症例を経験する。



今回、**膝伸展角速度**に着目し評価・治療することで

階段昇降獲得に至った人工膝関節置換術症例を経験したため報告する。

# 症例紹介の作成

✓ 症例の特徴を明確に記載する。

- 診断名
- 病歴
- 主訴
- リハ介入の目的
- 着目したこと

✓ 今回の症例報告の意義を記載できるとより良い。

読者が症例の全体像を把握できるような紹介をする。



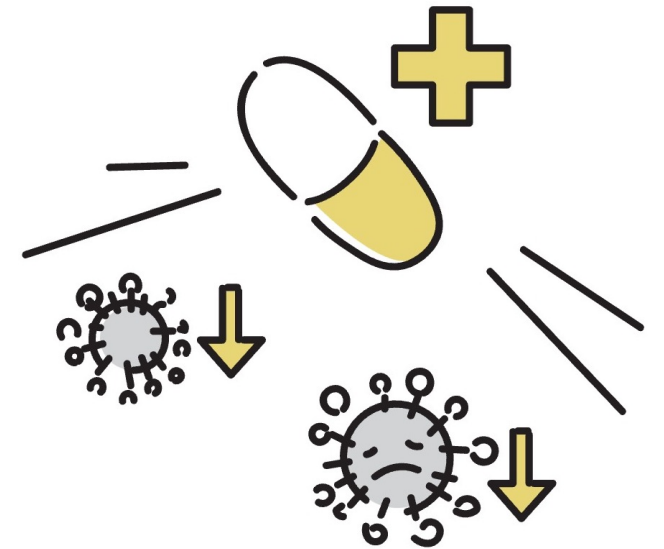
# 評価と介入方法の作成

## 【評価】

- ✓ 評価内容は客観的な数値を用いて記載することを意識する。
- ✓ 動作の特徴や症例の傾向など数値に示すことのできない情報も重要。
- ✓ 必要な評価結果のみを記載する。

## 【介入】

- ✓ 問題点に対して実施した介入内容を示す。
- ✓ 介入内容は一般的な用語を用いる。



# リーズニングと結果の作成

## 【リーズニング】

- ✓ 一連の臨床の流れ(評価や介入)からのリーズニングを示す。
- ✓ 問題点を明確にする。

## 【結果】

- ✓ 介入による変化を時系列に沿って記載する。
- ✓ 介入による変化は可能な限り客観的な数値を用いて示す。
- ✓ 姿勢や動作などの数値で示せないものは写真などを用いても良い。
- ✓ 主訴の変化や目標の達成有無などの情報も大切である。

# 結論の作成

- ✓ なぜそうなったのかについて考察を記述する。
- ✓ 先行研究の引用や一般的な臨床成績との比較を踏まえることも重要。
- ✓ 他症例への応用の可能性、同一属性への一般化の可能性についても考察できるとより良い。



第35回 大阪府理学療法学会 学術大会

# 探究心を育む

2023.7.2.(SUN)

会場 大阪国際会議場  
(グランキューブ大阪) & Web

大会長 本田 憲胤  
(医学研究所北野病院)

副大会長 増田 知子  
(千里リハビリテーション病院)

準備委員長 角田 晃啓  
(森ノ宮医療大学)



素晴らしい発表を会場でお待ちしております。

第35回大阪府理学療法学会 IT運営局